

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	Ley Line
住 所	神奈川県伊勢原市伊勢原1-14-18 岩崎ビル4F
電話番号	0463-75-8916

事業所番号	1414000743
管理者名	吉村 光
対象年度	令和7年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている	○	
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上:15点、4～3:5点、2点以下:0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点

1事例以上ある場合:10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点

期限内に提出していない場合:-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点

1事例以上ある場合:10点

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
150
点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,897	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,786	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.16	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,500,000	円	利用者に支払った賃金総額	17,964,389	円	収支	535,611	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	21,796,105	円	利用者に支払った賃金総額	19,769,925	円	収支	2,026,180	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

前年度（令和7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	25,034,805	円	利用者に支払った賃金総額	24,103,907	円	収支	930,898	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和7年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている ☒

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☐

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☐

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☒

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☐

（Ⅳ）支援力向上

前年度（7年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している ☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している ☒

※研修名 個々のキャリアラダーに合ったものを選定
研修講師 別途研修報告書にて管理
実施日・受講者数 別途研修報告書にて管理

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☐

※研修、学会等名
実施日 月 日
※学会誌等名
掲載日 月 日
発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している ☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒

※先進的事業者名
実施日/参加者数 月 日 人
※他の事業所名 東海大学医学部看護学科
実施日/参加者数 2025年9月2名、2026年1月1名

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している ☒

※商談会等名 東京インターナショナルギフトショー
主催者名 株式会社ビジネスガイド社
日時 9月2日
内容 幅広いジャンルの新商品が集まる展示会

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している ☒
◎当該人事評価制度を周知している ☒

人事評価制度の制定日 2021年9月1日
人事評価制度の対象職員数 6名
うち昇給・昇格を行った者 6名
当該人事評価制度の周知方法
年二回（4月、10月）のマネジメントレビューにて周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している ☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☐

※配置期間 月 日～月 日
就業時間
職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐

※評価を受けた日 月 日
第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☒

※認証を受けた日 2025/3/24
サーベイランス審査日 2026年3月
規格等の内容 ISO9001:2015

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☐

※受理日 年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	Ley Line
住 所	神奈川県伊勢原市伊勢原1-14-18 岩崎ビル4F
電話番号	0463-75-8916

事業所番号	1414000743
管理者名	吉村 光
対象年度	令和7年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

2025/7/30（水）伊勢原支援学校夏祭り「夏まつり～こまのすけと防災を学ぼう～」支援学校におけるイベントにて出店を行い、接客や販売活動を実践した。

活動内容

- ・販売商品の準備（仕分け、陳列）
- ・接客対応（商品説明、受け答え）
- ・会計対応（代金の受け取り、商品受け渡し）
- ・終了後の片付けおよび振り返り

参加利用者：3名（商品準備・現地対応含む）

<目的>

実際の販売活動を通じて、接客マナーやコミュニケーション能力、金銭の取り扱い等の実践的な就労スキルの習得を図る。また、役割分担の中で主体的に行動する力や、状況に応じた判断力の向上を目指す。

<成果>

声掛けの積極性や混雑時の対応については改善の余地があるが、大きなトラブルなく出店活動を遂行することができた。来場者対応を通じてコミュニケーション力の向上が見られ、販売経験を通じて自信や就労意欲の向上につながった。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

7つの事業所から販売へのご協力をいただき、改めて地域との繋がりの必要性を強く感じました。本校としては、コロナ以前の文化祭（11月に実施していた）以来、地域の事業所に御参加いただきました。当時の様子を知る教員もほぼ居なくなり、今回の取組の成果が次への参考となります。今年度中は、地域の事業所に御参加いただく行事等は現時点ではございませんが、次年度の計画を立てる上で、今回の成果を継続できればと考えております。

連携先企業名	伊勢原支援学校	担当者名	杉本
--------	---------	------	----

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	Ley Line	事業所番号	1414000743
住 所	神奈川県伊勢原市伊勢原1-14-18 岩崎ビル4F	管理者名	吉村 光
電話番号	0463-75-8916	対象年度	令和7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容>

2025年11月15日（土）Ley Line事業所内 スタッフ・利用者 約10名

防災意識の向上および緊急時対応力の習得を目的として、救命講習を実施した。

講習は消防署より消防士を招き、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用方法等について、講義および実技形式で行った。

<目的>

利用者が緊急時に適切な初期対応を行うための基礎的な知識および技能を習得することを目的としている。また、防災や安全に対する意識を高めるとともに、社会生活において必要となる実践的なスキルの向上を図ることをねらいとした。

<成果>

講習を通じて、利用者は救命処置に関する基本的な知識を理解するとともに、実技を通じて具体的な対応方法を体験的に学ぶことができた。特にAEDの使用については、実際に操作を行うことで不安感の軽減につながり、緊急時の行動に対する心理的ハードルが下がった様子が見受けられた。

<活動の様子>



連携先の企業や事業所等の意見または評価

皆さんとても真剣に取り組まれていて、こちらの説明にもよく耳を傾けてくださっていました。救命処置は経験を重ねることが大切なので、今回のような機会を今後も継続していただけると、より実践的な対応力につながると思います。

連携先企業（担当者）

伊勢原市消防署 富樫様

利用者からの意見・評価

講習に参加した利用者からは、「実際にやってみることで分かりやすかった」「AEDに触れる機会があまりないので緊張しました」といった声が多く聞かれた。また、「いざという時に落ち着いて行動したい」といった前向きな意見も見られた。一方で、「少し難しかったので、また練習する機会がほしい」といった声をいただきました。